

令和元年度大阪市環境管理計画に基づく内部監査及び外部評価についての概要

はじめに

大阪市市内環境管理計画では、温室効果ガスの排出抑制等を着実に進捗させるため、各所属における環境に配慮した取組を点検・評価し、取組の見直しを行う等の PDCA サイクルを位置付け、内部監査と外部評価を実施しています。

内部監査では、「職場内点検」と「監査員監査」を実施し、環境マネジメントシステムが適切に運用されているかを年2回確認しています。

また、外部評価では、外部有識者による専門的見地から環境マネジメントシステムの有効性の評価及び改善事項について、改善提案や助言をいただいております。

令和元年度については、次のとおり実施しました。

1 内部監査（職場内点検）の結果

表1の項目について、職場内で自主点検を行い、法令遵守点検項目の書類を確認しました。（年1回）

表1（職場内点検の結果）

点検項目	実施率	参考 (H30 実施)
昼休み・時間外の不要照明を消灯	99.4%	100.0%
冷暖房の適正温度設定	96.6%	95.5%
パソコンの省エネモード設定	97.7%	94.4%
昼休み離席時のパソコンの節電	98.5%	97.7%
両面コピーの推進	96.7%	97.5%
裏面再利用の推進	97.1%	98.4%
資源可能な紙類の分別	99.2%	98.7%

前年度の実施率と比較すると、同程度を維持しており、本計画における趣旨が浸透していると考えられますが、引き続き、定期的な研修及び内部監査を行い、職員1人ひとりが、より理解を深め、率先して環境配慮の取組を実践するよう促します。

2 内部監査（監査員監査）の結果

表2の項目について、監査員によるクロスチェックを行い、法令遵守点検項目の書類を確認しました。（年2回）

表2（監査員監査の結果）

点検項目	実施率	
	1回目（9月）	2回目（2月）
昼休み時の消灯	100.0%	100.0%
昼休み離席時のパソコンの節電	97.7%	97.9%
両面コピーの実施状況	97.0%	98.6%
裏面再利用の状況	98.6%	99.2%

昼休み時の消灯はいずれの監査員監査でも100%の実施を達成したほか、それ以外の項目についても1回目と2回目の点検結果を比較すると実施率が改善しており、研修や1回目の内部監査の取組が職員1人ひとりの意識向上につながっていると考えられます。

3 外部評価

(1) 対象所属 城東区役所、天王寺区役所、旭区役所、北区役所

※基準年度（平成 25 年度）より平成 30 年度の CO₂ 排出量及びコピー用紙使用量が増加した所属のうち、それぞれ上位 2 所属を選定

(2) 実施結果

外部有識者と共に施設における取組状況に関して、担当職員へのヒアリング、保有する設備（照明、空調等）の運用状況の確認など点検・評価を行いました。

①電気・ガス使用量

最も CO₂ 排出量が増加した所属では、庁舎建替えにより、複合施設として規模が拡大されていました。

建替えに伴い、省エネ効果の高い LED 照明や断熱性に優れたガラス窓などが導入されており、床面積あたりで建替え前後を比較すると、効率の良い施設となっていることが確認できました。



↑ LED 化された照明

↑ ペアガラス

②上水使用量

トイレの手洗い等の自動水栓や、庁舎を建替えた所属では雨水を利用する設備の導入など、節水に加え、環境に配慮した取組が行われていたことが確認できました。

③廃棄物排出量

フロアのごみ箱を 1 か所とし、安易にごみを捨てさせない工夫や、分別区分を写真で掲示し、所属によっては、リサイクルの流れを示した啓発ポスターを掲示するなど、資源としての分別排出を徹底することにより廃棄物量の削減につなげていました。



↑ ごみの分別取組の様子 ↑

④コピー用紙使用量

業務増加に伴い紙使用量が増加している中においても、両面コピーや裏紙利用は定着していることが確認できました。今後は、増加の要因を分析し、紙使用量削減の創意工夫が必要とのご助言をいただきました。

⑤その他

5 S リユースコーナーを設け、各職場で不用となった事務用品等を一箇所に集め、必要とする職員が自由に使用できるように工夫し、職場全体での環境配慮の取組を推進しているとして、評価いただきました。



↑ 5S リユースコーナー

4 総括

今回の外部評価においては、各職場での創意工夫も確認できたと外部有識者から評価いただきましたが、今後は現在の取組を維持継続するとともに、区役所における事例や外部有識者からのアドバイスを参考に、全庁において更なる環境改善に取り組んでまいります。